

令和4年度 三田市協働事業提案制度 「ええやん！やってみよっ！」

団体名： 森を守り育む市民団体『もりんちゅうの会』

提案事業名： 木器の森の手入れから派生した里山有効ボランティア活動

三田市は里山環境に恵まれたまちです。しかし、近年は人の管理が行き届かず、暗く荒れた里山放置林が多くなってきています。暗くなった放置里山林は、生物多様性の損失や、自然災害につながる恐れがあり、里山保全は三田市の重要な課題と言えます。また奇しくも今、日本ではキャンプブームが起こっていますが、一般の人たちがキャンプを楽しめる環境を提供するためにも、森林の整備が大切です。

もりんちゅうの会は約10年前から、けやき台や木器で草刈り、枝打ち、徐間伐などの里山林の保全・整備活動を行ってきました。これからは保全活動だけではなく、里山保全の大切さを次世代の子供たちへ伝える啓発活動の取り組みを重要だと考えています。

そこでイジット・リー氏と協働し、木器の里山でアウトドア生活の楽しさを青少年に体験してもらおうイベントを開催し、それを通じて里山保全の大切さを知ってもらう本取り組みを計画しました。イジット・リー氏は、自然を利用したアウトドア活動を啓発する団体「ブリティッシュ・ブッシュ・クラフト」の日本代表として活動しています。氏の豊富なアウトドア知識と、もりんちゅうの会が整備した木器の里山環境が合わせることで、青少年への里山保全啓発の聖地が創出されると期待しています。

初年度は3回の開催を予定していますが、イジット・リー氏との協働を通じて、もりんちゅうの会自身もアウトドア技術を学ぶことで、来年度以降の開催回数も増やせる体制を作りたいと考えています。

また現在、里山整備で排出された伐採木を、市内のキャンプ事業者に販売する取り組みを始めており、将来的にはそれら里山に関する事業者とのつながりを活かして、活動の広報・啓発の場を広げ、地域に根差した活動としてきたいと思っています。